

干合を覚えるコツ

干合は天(陽の干)と地(陰の干)が結びついて、別の新たな五行が生まれる現象をいいます。

陽(男性)と陰(女性)が仲良く結びついて別の新たな世界(家庭)を作るということから、干合は「夫婦の形」を意味します。干合は「干(精神)が合わさる(融合)」、精神的融合を言い、精神的な結びつきが強い相性となります。

干合を覚える方法として、ひとつの参考になれば幸いです。

① 陽の十干を「甲」を出発として、左から書いていきます。十干のはじまりは「甲」です。「甲」から書きます。

甲(木) 生 丙(火) 生 戊(土) … と、相生の順で書きます。

(天) (陽干)	甲	→	丙	→	戊	→	庚	→	壬
(木)			(火)		(土)		(金)		(水)

② 次に、陰の十干を「己」を出発として、左から書いていきます。

己(土) 生 辛(金) 生 癸(水) … と、相生の順で書きます。

(地) (陰干)	己	→	辛	→	癸	→	乙	→	丁
(土)			(金)		(水)		(木)		(火)

※ここで、「己」から書く理由は、陰の干は「天と地」でいえば、「地」です。地は地球で、土性です。

③ 下のように、陽の干 と 陰の干 の組み合わせが干合です。

(天) (陽干)	甲	丙	戊	庚	壬
(地) (陰干)	己	辛	癸	乙	丁
	↓	↓	↓	↓	↓
	甲己	丙辛	戊癸	庚乙	壬丁
土性	→剋	水性	→剋	火性	→剋
↑ 土性が出発					

甲己 干合は土性です。

そこから、上のように相剋の五行を書いていってください。

これが、それぞれの干合の五行変化になります。

夫婦は地球(土)にいるから夫婦になれる。土性が出発です。

別の人として、十干を縦に書いていく。
覚えやすい方法でどうぞ。



甲	己	土性
↓		
乙	庚	金性
↓		
丙	辛	水性
↓		
丁	壬	木性
↓		
戊	癸	火性